

総選挙

安倍暴走 ストップ

追いつめられ解散

安倍首相はなぜいま解散したのか。「先に延ばせば延ばすほど追いつめられる」からです。国民の世論と運動に追い込まれての解散です。

世論に背くことばかり

安倍政権がこの2年間にやったことは、消費税増税、「海外で戦争する国」づくり、国民の目・耳・口をふさぐ秘密保護法の強行、原発再稼働、沖縄への米軍新基地など国民の5割、6割が反対していることばかりです。

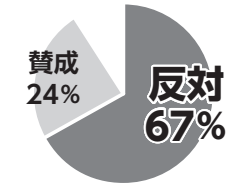
審判くださいチャンス

今度の総選挙で問われるのは安倍政治全体。この選挙は、国民の手で安倍政治にストップの審判を下し、政治を変えるチャンスです。

「自共対決」が鮮明

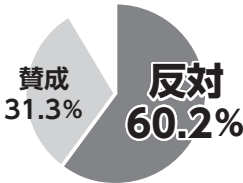
どの問題でも安倍政権の暴走に正面から対決しているのは日本共産党。「自共対決」が鮮明です。「第三極」といわれる勢力は自民党の補完勢力であることがあらわになり、すっかり混迷。日本共産党を昨年の参院選につづき躍進させてください。

消費税10%への引き上げ



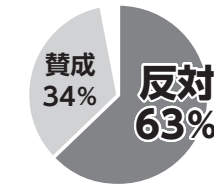
「朝日」(11月11日)

集団的自衛権行使容認



「共同」(8月3日)

原発の再稼働



「日経」(9月29日)

折り目



安倍首相

10%キッパリ中止

消費税

日本共産党

先送り ろどか 増税宣言

安倍首相はGDPの2期連続マイナスを受けて、消費税10%増税の1年半先送りを表明しました。総選挙の第一の争点は、消費税の「先送り」実施か、キッパリ中止するかです。**増税・自公民に審判を**

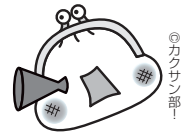
「先送り」表明は、経済失政を自ら認めたのも同然です。いまの景気悪化は、8%増税を強行した結果であり、

「増税不況」です。安倍政権と増税をすすめた自民・公明・民主に厳しい審判を下しましょう。

「先送り」といいますが、1年半延ばした後は、景気がどうあろうと10%に増税するという増税宣言です。日本共産党はキッパリ中止、「消費税に頼らない別の道」を訴えてがんばります。

財源 消費税に頼らぬ別の道を

- ① 富裕層と大企業に応分の負担を求める
税制改革で財源を確保する。
- ② 大企業の内部留保を活用し、
国民の所得を増やすことで景気をよくし税収を増やす。
この2つの方策をあわせてとれば、消費税に頼らず、社会保障や財政再建のための財源はできます。



©カクサン部!

総選挙 問われるのは安倍政治全体

比例代表は日本共産党

衆院近畿ブロック予定候補(第1次)



こくた 憲二
党国対委員長
前衆院議員(7期)



宮本 たけし
党中央委員
前衆院議員(2期)



清水 ただし
党准中央委員
大阪府副委員長



堀内 照文
党准中央委員
兵庫県副委員長

投票方法
(解説)

あなたには
2票あります

